

疾患名

乳癌(術後補助)

No.210

プロトコール名

Dose dense PAC療法

進行・再発癌

術後補助化学療法

術前補助化学療法

大量化学療法

局所療法

その他( )

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	パクリタキセル(パクリタキセル・PTX)	175 mg/m <sup>2</sup>	div	3 hr	d1
2					

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	2週間
総コース数	4コース
コース間での休薬の規定	なし

減量規定・中止基準	減量基準: 80%に減量 好中球減少症 = Grade4、FN ≥ Grade3、下痢、口内炎 = Grade3、 血小板減少症 ≥ Grade2 中止基準: 下痢、口内炎 ≥ Grade4、血小板減少症 ≥ Grade2が持続した場合
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	なし
プレメディケーション・ポストメディケーション	・プレメディケーション: デキサメタゾン3.3mg 5A、ファモチジン注 20mg 1A、レスタミン10mg 5T ・ポストメディケーション: Day 2にベグフィルグラスチム 3.6mg 皮下注

患者条件

※NCI-CTC v4.0

- ・PS 0~2
- ・主要臓器の機能が保たれている
- ・骨髄機能が保たれている
- ・感染症を有さない
- ・Dose dense に耐えられると考えられる患者

除外規定

- ・上記患者条件を満たしていない患者
- ・PAC、ポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
- ・ジスルフィラム、シアナミド、カルモフル、プロカルバジン塩酸塩使用中の患者
- ・アルコール過敏症のある患者

実施上の注意点

パクリタキセル

- ・本剤投与時には、0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。また、点滴用セット等で本剤の溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。
- ・本剤投与による重篤な過敏症状の発現を防止するため、本剤投与前に必ず前投薬を行うこと。前投薬としては本剤投与約12~14時間前及び約6~7時間前の2回、もしくは本剤投与約30分前の1回デキサメタゾンとして8mgを静脈内投与、本剤投与約30分前に塩酸ジフェンヒドラミンとして50mgを経口投与、本剤投与約30分前にファモチジンとして20mgを静脈内投与すること。